

講義名	卒業研究				
講義コード	14404	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4 時限
担当教員	長坂 泰之			サンパリング・コード	

学部・学科	演習分野
全学部全学科	商業まちづくり 店の経営（個）及び まちの経営（集積）について実践的に学ぶ

概要説明

長坂ゼミナールは、7年目のゼミです。この6年間で様々な活動を行ってきました。

■概要
長坂ゼミナールでは、商業を中心に、社会の現場を五感で感じることを通じて、みせの価値、まちの価値、そして 自分自身の価値について、教員、ゼミ生とともに学びます。このような方針なので、ゼミを通じて自らの可能性を感じて意欲的に行動しようとするチャレンジングな学生を求めます。

具体的には、商業を中心に・・・小売業、飲食・サービス業、ショッピングセンター、商店街、中心市街地等を対象とします。社会の現場を五感で感じる・・・可能な限り現場に出てキーマンに会い、そして実体験を開く、真実は教科書ではなく現場にあります。みせの価値、まちの価値・・・厳しい経営環境の中で、生き残っているみせ、まちには、必ず差別化された価値が存在します。そこから学ぶことに意味、意義があります。

自分自身の価値・・・の現場、ある教員、ゼミ生間との活動を通じて、自分自身の価値を考えます。チャレンジングな学生を求める・・・「失敗を怖れないこと」が入ゼミの大きな条件です。過去がどうだったかは問いません。「これまでのことはどうでもええやん」。人生100年時代。これからの80年を充実させることが大事です。

■社会共創活動
教員との関わりを持つ「社会共創活動」に積極的に取り組んでいます。大学から認定を受けて補助をいただきながら活動する活動です。

■ゼミ合宿
ゼミ合宿を実施します。合宿の地域・内容は教員とゼミ生と相談しながら決定します。費用は一部大学の社会共創活動補助金が出ますが、自己負担が発生します。毎年、ゼミ生総意で計画を決めています。

■就職状況
長坂ゼミの数多くの卒業生は、ゼミでの様々な活動を「学チカ」としてアピールしています。従って、ゼミ活動を積極的に取り組むことで、自然と就職活動に有利となります。

主な卒業論文のタイトル

- （ゼミ生と相談しながらが希望するテーマを探知しています）
- 大規模災害被災地に対する復興・復興時における流通科学大学による支援の可能性(ボランティア活動をイメージして)
- アメの聖地巡礼が地域活性化に与える影響
- マイクロツーリズムを見据えた神戸市が観光都市として選ばれるための条件の検討
- 現在の人材派遣業界（携帯販売）の動向と今後について
- 日本におけるヤングケアラーの実態及び今後の在り方について
- 国内eスポーツ市場の新たな価値についての研究
- ダイエー発祥の地（千林商店街）及び津波被災地（陸前高田市）の支援等を通じて得たこと
- 衰退した商店街のカフェ空間への出店を通じて得た気づき

卒業論文の作成は任意ですが、2年次、3年次に目的を持って活動したゼミ生は、その集大成として論文をまとめることは容易だと思います。

教員よりの要望

■社会はどんな人間を求めているのでしょうか？私たちの価値ってなんでしょうか？私たちの役割ってなんでしょうか？職人・芸術家などの磨かれた「個性」を持つ職業の方でも社会との関わりを断つことはできません。
ある組織の新人採用の面接官は、以下のような視点から社会への適合力を判断すると言っています。
学生時代に自分のやりたいことをやってきたか？→前向きな思考力と行動力
学生時代に様々なハードルを越えてきたか？→ストレスに対する適応力
学生時代に様々な活動に参加してきたか？→チャレンジ精神とコミュニケーション能力
みなさんの人生はこれから。みなさんにはこれからたくさんのチャンス、何度かのビッグウェーブが訪れると思います。そのチャンスをしっかりと掴み取ることで、それを可能とするのは皆さん次第です。そのためには、学生時代にたくさんチャレンジをして、たくさんの失敗を経験することがとても大事です。
長坂ゼミは活動が活発です。ただしコロナ災禍においては、その状況を踏まえたうえで適切に活動をお願いします。
最後に、長坂ゼミはチームでの作業をすることが多いので盲動を基本としています。積極的でない、欠席しがちな学生は選択をしない方がよいと思います。

選考方法

個別ガイダンスには必ず参加してください。長坂研究室で（研究等 306号室）でガイダンスとともに面接を行います（複数回実施する場合もあります）。面接では、自己紹介、大学生活でやりたいこと、ゼミへの期待などについて話を聞きます。自分なりに準備をしてきてください。
長坂ゼミは共同作業が多く発生します。集団での活動への自主的、積極的な協力は欠かせません。遅刻や欠席は他のゼミ生の迷惑となります。この点についても面接で確認します。
チームへの貢献する姿勢がない、メンバーの個性を尊重しない、欠席、遅刻、早退をする学生は当ゼミは難しいと思います。逆に、人生経験は浅くても、失敗を恐れずに、仲間と仲良くしたいと考える学生は大歓迎です。

評価方法

ゼミ活動において、ディスカッションでの積極的な姿勢、目標に対する取り組み姿勢など、失敗を怖れない積極的な姿勢を高く評価します。また、チームへの貢献度も高く評価します。
集団で行動することが多いので、欠席、遅刻、早退は認めません。
チームへの貢献が認められない、メンバーの個性を尊重しない、欠席、遅刻、早退をする学生はゼミを継続することが難しいと思います。

教員英字氏名	研究室
Yasuyuki Nagasaka	研究棟 3階 306研究室

最終学歴

横浜市立大学 大学院 都市社会文化研究科 博士後期課程修了

学位

博士（学術・都市社会文化専攻） 博士論文：東日本大震災の津波被災市街地における商業集積の復興

主な研究活動・社会活動・研究業績

- 著書
復興 陸前高田 ゼロからのまちづくり（2022年）（日本建築学会学会賞受賞、土木学会学会賞受賞）
中心市街地活性化のツボ（2011年）
100円商店街・バル・まちゼミ（2012年）
失敗に学ぶ中心市街地活性化（2008年）
- 論文・学会報告
気づきの教育の実践と効果－学生のカフェ空間への出店体験を通じて－（流通科学大学紀要論文／2022年度、予定）
東日本大震災の津波被災市街地における商業集積の復興プロセスに関する研究（横浜市立大学大学院都市社会文化研究科博士論文／2020年度）
コロナ禍は商店街にいかなる影響を与えたか－緊急事態宣言期における神戸元町商店街実態調査より－（流通科学大学紀要論文／2020年度）
東日本大震災の復興・復興期における商業集積支援策に関する研究－阪神・淡路大震災との比較を中心に－（日本都市計画学会／2018年）
次代に向けた中心市街地の商業活性化事業の在り方についての研究（文教大学湘南総合研究所／2017年）
「中小小売商と大企業との共存と協調」～中小商業に対する近年の商業振興政策と中小小売業者の取り組み～（韓国流通学会学術大会／2018年）
- 社会活動
地域活性化伝道師（内閣府）
陸前高田市復興アドバイザー
陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略策定会議委員
中小機構中心市街地サポートアドバイザー
関西ネットワークシステム（K.N.S. 産学官民連携組織）世話人
近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会組成人

趣味・特技

テニス（学生時代はスクールのコーチだったかも）
バル（バル街）巡り（日本全国に飲食店とヒトを繋ぐイベント「バル」がたくさん開催されています。なかでも特に関西に多いです）
全国の仲間に出かけよう（全都道府県に訪問各地にたくさん仲間がいます）
まち歩き、路地裏・盛り場探訪（北海道から沖縄まで、全国津々浦々のまちを歩いています）

所属

中小企業診断士（経済産業省）
地域活性化伝道師（内閣府）

所属学会

日本商業学会
日本都市計画学会
日本中小企業学会

専門分野

流通政策
商業まちづくり、中心市街地再生、タウンマネジメント、エリアマネジメント
中小小売商業支援、中小企業経営診断、中小企業経営、起業・創業支援
震災復興支援（阪神・淡路大震災、東日本大震災他）

担当科目

研究演習関連
研究演習、研究演習、卒業研究、専門基礎演習
流通関連
流通科学入門、流通概論、流通政策、教養特講（流通）、教養特講（マーケティング学科へのいざない）
経営関連
中小企業経営論、ベンチャービジネス論

備考

【過去の社会共創活動＝大学から認定を受けて補助をいただきながら活動したゼミ活動】
2018年 千林商店街100円商店街出店及び後方支援並びにダイエーの歴史文化展示
2020年 元町商店街連合会の消費者アンケート調査等各種アンケート調査及び提言の作成
2020年 新型コロナウイルスの影響についての緊急アンケート（元町商店街連合会）
2020年 千林商店街におけるダイエーの歴史文化展示（クイズ）
2020年 『社会人基礎力育成グランプリ』参加(特別賞受賞)
2021年 千林商店街におけるダイエーの歴史文化展示（クイズ）
2022年 神戸県エリアKIKKAKEプロジェクトとのコラボレーション
2022年 高田松屋周辺に実訪する観光客にいかにしてまちなかに来ていただくか
2022年 神戸元町商店街連合会未来会議「元町魅力アップ事業（仮称）」に係る産学連携の取り組み

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
教員「中心市街地活性化のツボ」に掲載されている20以上の事例は自ら実務として関わった事例もしくは現地でのヒアリングをもとにその成功要因などを分析したものです。
また、著書「復興 陸前高田」は津波被災地陸前高田市の被災から復興までを被災地の皆様とともに歩んだ道のりを記録したものです。
実務経験は、国の政策実施機関である独立行政法人中小企業基盤整備機構に30年以上在籍、中小企業の融合化、人材育成（中小企業診断士養成、中小企業経営後継者育成等）、インキュベーション運営、流通団地、工業団地、中心市街地、商店街、共同店舗、中小小売業の経営診断の経験あり。流通の現場の実態を伝えます。経済産業省登録中小企業診断士。内閣府地域活性化伝道師。